

土佐清水

[ASHIZURI-UWAKAI KOKURITSUKOEN] TOSASHIMIZU GUIDE BOOK

[足摺宇和海国立公園] 観光ガイドブック



この壮大な風景をあなたに――。

TO-SA-SHI-MI-ZU



足摺

ASHIZURI

太平洋の荒波に浸蝕された白い花崗岩。その上に生い茂る亜熱帯性の緑の樹木。四国最南端に突きだした足摺岬周辺は黒潮打ち寄せる温暖な気候の中、自然が織りなすダイナミックな景観が展開する。



ASHIZURI-UWAKAI KOKURITSUKOEN TOSASHIMIZU ASHIZURI MISAKI



紺碧の海が広がる太平洋に突き出た足摺岬。標高433mの白皇山を中心とする花崗岩台地が隆起と沈降を繰り返してきたもので、古くは陸陀岬とも呼ばれていた。岬の先端には白亜の灯台が立ち、この岬先端までは椿が生い茂る遊歩道が整備されている。また、展望台から眺める太平洋は、270度の視界が広がり、地球の丸さが実感できる。



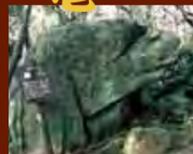
日本人初の国際人 ジョン万次郎

漁に出ていた船が嵐に遭遇。無人島での生活を経てアメリカに渡り、長い歳月をかけて日本へ戻り、日本の国際化に尽力したジョン万次郎は、足摺岬西側の中浜地区の出身。現在、足摺岬の遊歩道入口には、ジョン万次郎の銅像が立つ。

足摺岬の不思議

足摺岬周辺を巡る遊歩道の途中には、弘法大師・空海ゆかりの不思議な伝説が残る場所がある。これらの場所を巡って大師の残した不思議を体験してみよう。

其之一



亀石

亀呼場から大師が亀の背中にのって海中の不動岩に渡ったといわれ、この亀石は、亀呼場の方向に向かっていて。

其之二



汐の満干手水鉢

岩の上に小さなくぼみがあり、汐が満ちている時は水が溜まり、汐がひいているときは水がなくなると言われている。

其之三



ゆるぎ石

大師が金剛福寺を建立の際に発見された石で、石を揺らした時の動揺の程度によって孝心を試すと言われている。

其之四



地獄の穴

穴に小銭を落とすと、チリンチリンと音がして落ちていく。その穴は金剛福寺の本堂のすぐ下まで通じていると言われている。

其之五



弘法大師の爪書き石

大きな岩肌に大師が爪で「南無阿彌陀仏」と六文字の名号を彫っていると言われている。

其之六



亀呼場

大師が前の不動岩に亀の背中に乗って渡り、身体安全、海上安全の祈禱をされたと言われている。

其之七



大師一夜建たらずの華表

大師が一夜で華表(とらい)を作らせようとしたが、天邪鬼が鳥の鳴き真似をしたことで、大師は夜が明けたと思いやめたと言われている。

波の浸蝕作用でできた 白山洞門

白山神社から南へ続く遊歩道を下りた場所にある白山洞門。荒々しく打ち寄せる太平洋の波が、大きな岩山に高さ16m、幅17m、奥行き15mの大きな穴を開けている。



花崗岩の海蝕洞としては日本有数の大きさを誇り、昭和28年、高知県の天然記念物の指定を受けている。遊歩道ですぐ近くまで行くことができるので、その迫力をぜひ体験してみよう。また2009年にオープンした「万次郎足湯」から展望することもできる。



気根が覆い尽くした大樹 松尾のアコウ自生地

足摺岬周辺には亜熱帯の植物が生い茂るが、その代表格ともいえるのが、この松尾神社境内にあるアコウの大樹。アコウはクワ科イチジク属の常緑樹で、親木に寄生して気根を垂らし、最終的には親木を覆い尽くして枯死させてしまう絞め殺しの樹木。周囲9m、樹高25m、樹齢400年を誇るこの大樹は、大正10年、国の天然記念物に指定されている。



足摺にあった巨石文化? 唐人駄場遺跡

足摺半島の先端近くの海岸段丘の一角に、縄文時代早期(紀元前5000年頃)から弥生時代にかけての石器や土器片が数多く出土。一帯にはストーンサークルと思われる石の配列や、高さ6~7mもある巨石が林立する唐人岩があり、太古の巨石文明の名残ではないかと言われている。



黒潮が打ち寄せる場所 白婆

黒潮が日本で最初に接岸する場所と言われ、見事な花崗岩の断崖は、磯釣りのメッカとしても知られている。海に突き出した岩山の上には、魚を招き寄せるといって竜宮神社の祠がある。また、東の足摺岬、西には叶崎が見渡せる展望はなかなかのものである。

竜串 見残し

TATSUKUSHI MINOKOSHI



土佐清水市街から西へ約8km。千尋岬の西側に広がる海岸一帯は波や風の浸蝕作用で奇岩の連なる竜串・見残し海岸である。また、この海には造礁サンゴや熱帯魚が棲息し、昭和45年に日本ではじめて海中公園に指定されている。



竜串海岸は3000～8000年前の砂岩からなる浸食台地で怪岩奇岩の景勝地として有名。特に、丸みを帯びた岩が何本もまっすぐに伸びる大竹小竹は代表的な景観。他にも蛙の千匹連れや千畳敷、しぼり幕などの名所が数多くある。



まるで異世界の景観 見残し

千尋岬西側の先端に近いところにある海岸一帯は、竜串周辺を訪れた弘法大師が、この景勝地を見落としていったことから「見残し」の名がついたと言われている。この地層も竜串と同じ砂岩や泥岩が、長い年月を経て浸蝕され、岩肌に自然が織りなす不可思議な造形美を見せている。その奇観の中に立てば、まるで知らない惑星に降り立ったような気分させてくれる。



巨大な水槽で泳ぐ魚たち 足摺海洋館



「土佐の海と黒潮の魚たち」をテーマに、足摺半島周辺に棲息する魚類を中心に、約150種、3千点を飼育展示。特に圧巻は直径9m、高さ6mの海洋水槽。スギヤカンパチ、ロウニンアジなどの大型魚をはじめ、約50種類の魚たちが泳ぎ回る。

TEL 0880-85-0635



一年中ダイブOK スキューバダイビング

サンゴ礁の中を色とりどりの魚たちが群れ泳ぐ姿を間近に見るならスキューバダイビングがおすすめ。海中公園になっている竜串の海は足摺岬と叶崎に挟まれ、台風や時化の時以外は潜ることができる。12～3月の冬場でも、水温は16～18度と高く、透明度が安定するので、一年を通じて全国から数多くのダイバーが訪れる。



手軽に海中散歩 足摺海底館

竜串海岸の西側、海の上ですくと立つ白と赤の建物。普段着のまま、手軽に竜串の海中を見ることが出来る。建物に入って、螺旋階段を降りた部屋に丸い小窓が開いていて、外は海中になっている。サンゴ礁が連なる中を、色とりどりの熱帯魚が泳ぐ様子は、まるで竜宮城を訪れたような錯覚におちいってしまう。

TEL 0880-85-0201



あらゆる貝類を展示 海のギャラリー

日本三宝と称されるテラマチタカラ貝、オトメダカラ、日本タカラをはじめとして、大きいもので1m以上、小さなもので1mm以下のものまで約3千種8万点を展示する貝類展示館。

TEL 0880-85-0137

明治の面影を今に残す 叶崎灯台

国道321号を竜串から大月町へ向かう途中に、切り立った断崖の上に白亜の灯台が見える。この灯台は明治44年に建設され、今も当時の名残を残す現役の灯台である。



竜串海中公園の グラスボート

竜串海域公園のサンゴ礁や熱帯魚を手軽に見たいのならグラスボートがおすすめ。ボートには2種類あり、船底に開いたガラス窓から海底を覗くタイプと、見学する部屋が船の底にあり、横に開いたガラス窓から海の様子を観察できるタイプがある。



グラスボートの所要時間は30～50分。グラスボートで見残し海岸に渡り、奇岩見学ができるコースもある。竜串では現在、2社がグラスボートを運航しているので、時間やコース、乗り場を確認して乗船しよう。



たつきし海中観光 TEL 0880-85-1155
竜串観光汽船 TEL 0880-85-0037



**まんぼう焼を食べてみよう
じんべえ市**

毎月第2日曜日に以布利漁港の広場で行われる市。取れたての魚介類、天日干しの干物、小夏やボンカンなどの柑橘類も販売されている。中でも人気なのが、上質の小豆と卵を使った「まんぼう焼き」。いわば鯛焼きのマンボウ版だが、柔らかい皮は冷めても硬くならずおいしいと評判。



**大阪海遊館海洋生物研究所
以布利センター**

大阪にある水族館「海遊館」に、黒潮にのって回遊してくる魚やマンタ、ジンベエザメなどを提供するための施設。定置網にかかった魚たちの健康状態をチェックし、人工飼育の訓練を行う。毎月第2日曜日の午前9時から正午まで特別に見学することができる。

TEL 0880-82-8780



以布利港では魚たちと一緒に泳ぐマンボウスイムやジンベエスイムを実施している。

足摺ダイビングセンター TEL 0880-82-0477
たつきAQUAセンター TEL 0880-85-1151
マリショップシーサークル TEL 0880-83-0092

土佐清水

TOSASHIMIZU

四国最南端の街、土佐清水は、好漁場である黒潮が近くを流れていることもあって、活気があり賑わっている。
今日も魚を満載にして帰ってきた漁師たちの威勢のよいかげ声が市場の外まで響き渡ってくる。



**ジョン万の生涯を学ぶ
ジョン万次郎資料館(海の駅あしずり)**



土佐清水市街から車で約10分の場所にあるあしずり港。この港に面して立つ一際大きな建物が「海の駅あしずり」である。館内にはレストラン「潮風にふかれて」や物産館などがある。また、日本初の国際人といわれたジョン万次郎の生涯と功績を、わかりやすく展示した「ジョン万次郎資料館」も併設されている。数奇な運命に翻弄されながらも、独力で日本への帰国を果たした万次郎の偉大さを学ぼう。



**何が獲れるか
ドキドキワクワク
窪津
観光定置網**

窪津の沖合の海にあらかじめ仕掛けてあった定置網の巻き上げを見学。毎回、網の中に入る魚の量や種類が異なっているので、何が獲れているのかは、その日のお楽しみ。迫力ある魚を見学した後は、獲れたての新鮮な海の幸をいただく。



**ジョン万の故郷
ジョン万次郎
生家**

平成22年10月末にジョン万次郎の生誕地・中浜に生家が復元された。「万次郎の生家」として残る写真をもとに建てられた生家は茅葺きの木造平屋。万次郎はここで14歳まで過ごしたが、5人兄弟であったことを考えると、あまりに小さな佇まいに当時の暮らしが伺える。中浜には万次郎の仮のお墓や、記念碑などがあるので、万次郎の足跡をたどってみよう。



漁の盛んな高知県の中でも、有数の水揚げ高を誇る土佐清水漁港。足摺岬沖の岩礁域の漁場でていねいに一本釣りされた大ぶりのゴマサバは「清水サバ」というブランド名で呼ばれ、その味は関サバにも匹敵すると言われている。土佐清水漁港では、この清水サバをはじめ、宗田節にするメジカなど、さまざまな魚介類が水揚げされている。



.....ASHIZURI-UWAKAI KOKURITSUKOEN TOSASHIMIZU.....



**土佐清水さかなセンター
足摺黒潮市場**

土佐清水漁港で水揚げされた、獲れたての魚介類を直送。新鮮な魚を浜値で購入できるとあって、観光客だけでなく、地元の人々の利用も多い。また、レストランでは清水サバの料理など、土佐清水ならではの海の幸が堪能できる。



**土佐清水の
海上観光**

土佐湾には体長が7~8mにもなるニタリクジラが棲息し、春から秋にかけて悠々と泳ぐ姿を見ることができることからホエールウォッチングが盛んに行われている。



土佐清水市では清水港、下ノ加江漁港、窪津漁港からウォッチング船が出航。クジラの他にイルカが群れて泳ぐ姿をウォッチングできることもある。また、足摺の海岸線を海上から眺めるのも、旅のいい思い出になる。



**絵に描いたような海岸
大岐の浜**

真っ白な砂浜と緑の林が1.5kmに渡り緩やかな曲線を描く美しい海岸。最近ではサーフポイントとしての人気も高く、県内外からサーファーが訪れる。広々とした砂浜に立ち、のんびりと波の打ち寄せる様を見ているのもいい。



温泉

ONSEN

旅の疲れを癒すには温泉に入っのんびりするのが一番。わが家を遠く離れ、四国最南端の足摺岬を訪れたら、あわてて次の観光地へ移動せず、温泉のあるホテルや民宿で、ゆっくりと旅の疲れを癒してほしい。

もてなしの心でお出迎え あしずり温泉郷

およそ千2百年前、弘法大師が金剛福寺を建立したときから、足摺岬では温泉が出たという伝説が残っている。現在は岬周辺にある10カ所の民宿やホテルが温泉を引き、「あしずり温泉郷」として観光客を迎えている。



白山洞門展望 万次郎足湯

2009年にオープンした足摺岬の新名所。階段上に浴槽が4つあり、どこに座っても全面ガラス張りの大きな窓から、青い空と雄大な太平洋、そして白山洞門を眺めることができる。

太平洋を眺め、ひと泳ぎ 足摺テルメ

地下1,000mから湧き出す天然温泉を利用して、大浴場や露天風呂などの施設が充実したホテル。露天風呂や客室からは、眼下に雄大な太平洋を眺めることができる。レストランや売店を併設し、日帰り温泉もできる。



特産品

TOKUSANHIN

豊かな自然に恵まれた土佐清水市では、海の幸をはじめとして、さまざまな特産品がつけられている。どれも、ここに来てはじめて手に入れられるものばかりだから、旅の思い出や、お土産として、ぜひとも買って帰ろう。



そば、うどんのダシの定番 宗田節

カツオの仲間、ソウダカツオ(メジカ)を薫製にして鰹節にしたもの。あっさりとしてコクのある味が出ることから、そばやうどんのダシとして人気が高い。高知県の宗田節の生産量は全国の8割を占め、圧倒的なシェアを誇る。



メジカを食べやすく 姫かつお

ソウダカツオを生節の製法で焼き上げ、柔らかく食べやすいように味付けしたもの。しょうゆ味のほかに、生姜味、辛みそ味、塩味、にんにく味などがあり、パリエーションも豊富。そのまま食べたり、サラダの具などに利用できる。

おいしい果物ができる 柑橘類

おいしい柑橘類をつくるには、潮風の当たる海岸近くで、ある程度の標高が必要になってくる。土佐清水市では、この柑橘類に適した地形を活かし、冬場にはポンカン、初夏には小夏などの栽培が盛んに行われている。



食

SHYOKU

旅の醍醐味はなんといっても、その土地ならではの食を楽しむこと。土佐清水では毎日水揚げされる新鮮な魚介類をレストランや食事どころ、宿泊施設などで味わえる。都会では味わえない本当のおいしさを堪能しよう。

サバのうま味が凝縮 姿寿司

土佐清水特産の「清水サバ」でつくった寿司。肉厚のサバにほどよく酢が効き、食がすすむこと間違いなし。姿寿司の他に棒寿司もあり、通にはこの寿司の表面を炙った「焼きサバ寿司」が人気。



いろんな料理が一盛り 皿鉢料理

高知県の代表的な郷土料理。一枚の大皿に寿司や煮物、揚げ物、ときには刺身などさまざまな料理が盛り付けられている。土佐清水では、もちろん新鮮な魚介類をたっぷりつけた皿鉢料理が堪能できる。



おめでたい席の寿司 つわ寿司

土佐清水市の足摺から松尾あたりでつくられてきた郷土料理で、3升もの米が入る箱に、ツワブキの葉を敷き寿司を重ねてつくる押し寿司。「おしぬき」という箱から抜き取るので、厄明けの席などで「やくがぬけた」と喜ばれる料理。



ASHIZURI-UWAKAI KOKURITSUKOEN ONSEN SHYOKU TOKUSANHIN

歯ごたえと味は絶品 清水サバ

一般的にサバというと刺身などには適さないと言われているが、「清水サバ」は生きたまま水揚げされるので、土佐清水では刺身で食べるのが一般的な食べ方の一つ、しっかりした歯ごたえと、うま味十分の刺身は一度食べてみる価値あり。



海から獲れる宝石 サンゴ

土佐清水の沖合の海は、昔から世界的な宝石サンゴの採取地として有名。現在では、その生産量も少なくなったが、土産物店に行けば、手軽なアクセサリから高級な宝飾品まで、色鮮やかなサンゴ製品が販売されている。

深い味わい カツオのタタキ

カツオのタタキの発祥の地は土佐清水市松尾だと言われている。カツオをさばき、わらで焼く。この地に古くから伝わる味を試してみよう。



何杯でも食べたい 魚飯

「清水サバ」のもう一つのおいしい食べ方がこれ。醤油や日本酒を使い味付けし、サバの身をほくして、よく混ぜ合わせる。炊きたての魚飯は、サバから出たダシがよく効き、臭みもなく何杯でも食べることができる。



それぞれの思いを込めて四国中を旅する遍路。
それはいつも弘法大師・空海に見守られた
「同行二人」の旅である。
土佐清水市の四国最南端の地、足摺岬には
大師が建立した金剛福寺が立ち、
一年を通じて多くの遍路や参拝客が訪れる。

ASHIZURI-UWAKAI KOKURITSUKOEN TOSASHIMIZU HENRO

遍路

HENRO

空海
(774-835)

平安初期の僧で真言宗の創設者、弘法大師の諡号で知られている。大師は宝亀5年(774)に香川県普通寺で生まれ、31歳の時に唐に渡り密教を学ぶ。帰国後は高野山を開創し、真言宗の教えである「真言密教」を広めた。遍路とは、四国にある弘法大師にゆかりのある88ヶ所の寺を巡礼することをいう。



札所から札所までの距離が長い「修行の道場・土佐」。第37番札所岩本寺から第38番札所金剛福寺までの道のりは約90kmと四国八十八ヶ所の札所間距離で最長である。

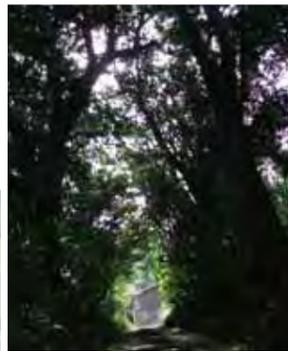


第38番札所 金剛福寺

うっそうと茂る亜熱帯樹林の樹海に立つ金剛福寺。第38番の札所に数えられ、四国最南端に位置するこの寺院は、南国情緒漂う仁王門をくぐると、正面に本堂があり、左手には真新しい大師堂がある。

遍路を体験したくなる あしずり遍路道

土佐清水市では、かつての遍路が利用していた古道を再整備させて復活。道沿いには以前から残る石でできた道しるべと、各起点間までの距離が表示された新しい道しるべが立てられ、歩き遍路が安心して旅を続けられるように工夫されている。



大岐下港山 ←→ 大岐浜道北口
和 田

あしずり遍路道



祭り

MATSURI

一年に一度、無病息災を祈り、豊かな恵みに感謝してハレの日に祭りを行う。その日は、朝からどこか日常とは違う空気が漂っている。子どもから大人までそれぞれ楽しみながらその時を迎える。さあ、祭りははじまりだ。

ASHIZURI-UWAKAI KOKURITSUKOEN TOSASHIMIZU MATSURI



土佐清水市民祭 あしずりまつり

毎年8月に開催される土佐清水の夏の風物詩。あしずり踊りをはじめ、多彩なイベントが行われる。夜には屋台が賑わう中、迫力満点の花火大会が開催される。



勇壮な漁船のパレード 鹿島神社大祭

毎年2月と10月の第3日曜日の2回、航海安全や豊漁を祈って行われる祭り。色とりどりの大漁旗を掲げた漁船が、神輿の乗る輿舟を先頭に海上をパレードする。そのさっそうとした出漁風景に脈々と受け継がれた海の男たちの心意気を感じることができる。



土佐清水で 出会える 生き物たち

名所や観光施設を楽しむのもいいけれど、土佐清水を訪れたら周囲の自然や生き物たちにも目を移してほしい。そこには生き生きとした営みを見せる、ありのままの自然が見えるはず。



磯で巣を探してみよう インヒョドリ

ヒヨドリより少し小さく、体長は23cmほど。磯の岩陰などに枯れた雑草などを集めて巣をつくる。ヒヨドリの名前がつくが、分類上はツグミ科の全く別の鳥。



竜宮の使いにであう ウミガメ

足摺七不思議のひとつ「亀呼び場」から眼下の海を眺めていると本当にウミガメが泳ぐ姿を目にすることがある。また、市内上はツグミ科の全く別の鳥。



崖地に咲く夏の花 ハマカンゾウ

海岸の崖地や急傾斜地に自生するユリ科の植物。ノカンゾウによく似ているが、葉が厚くて光沢があり、常緑なのが特徴。7月ごろから黄味をおびた橙色の花が咲く。



夏の海に咲く白花 ハマユウ

日当たりの良い海浜でよく見かける花。ヒガンバナ科の植物で、7~9月の間、白い花を咲かせるが、木綿(ゆう)のように白く垂れているのでこの名前がついた。



初冬の足摺岬を彩る花 アシズリノジギク

四国西南部に分布し、ノジククの変種として扱われることもある。足摺岬から叶崎にかけての海岸沿いで11月から12月にかけて多く見られる。



足摺の冬の風物詩 ツバキ

足摺岬のシンボルであり、遊歩道にたくさん自生し、冬から春にかけて花を咲かせるツバキ。古くから日本人に親しまれ、さまざまな園芸品種がつけられている。

- 春の訪れを告げる祭り
- 足摺椿まつり
- 土佐清水に早い春を告げるツバキが開花する1月中旬から2月末まで行われるまつり。足摺半島全体で約15万本、灯台周辺の椿のトンネルには約6万本の樹に花が咲き乱れ、春を彩る。期間中は観光開きや俳句大会など多彩な催しが繰り広げられる。



土佐清水へのアクセス

- 自動車で
 - 高知市周辺 [高速道路:高知→中土佐(46.3km 約35分)] 国道56号・国道321号(約98km 約2時間) → 土佐清水
 - 松山方面 [高速道路:南国→中土佐(53.9km 約41分)] 国道56号・国道321号(約165km 約3時間) → 土佐清水
 - 高松方面 [高速道路:松山→西予宇和(64.0km 約48分)] 国道56号・国道321号(約98km 約2時間) → 土佐清水
 - 徳島方面 [高速道路:高松西→中土佐(160.9km 約2時間)] 国道56号・国道321号(約98km 約2時間) → 土佐清水
 - 岡山方面 [高速道路:徳島→中土佐(197.1km 約2時間50分)] 国道56号・国道321号(約98km 約2時間) → 土佐清水
 - [高速道路:岡山→中土佐(203km 約2時間40分)] 国道56号・国道321号(約98km 約2時間) → 土佐清水

- 飛行機で
 - 東京(約1時間15分) [高知龍馬空港→バス・タクシー(約40分)] →JR高知駅→
 - 大阪(約40分) [JR・くろしお鉄道(約1時間50分)] 又はバス(約110km 約2時間20分) →
 - 福岡(約50分) [JR・くろしお鉄道(約1時間50分)] 又はバス(約110km 約2時間20分) → 中村駅→バス(約38km, 56分) →土佐清水

.....ASHIZURI-UWAKAI KOKURITSUKOEN TOSASHIMIZU.....

- 鉄道で
 - 東京→新幹線(約2時間30分)→新大阪→新幹線(約1時間)→岡山→J.R.土佐くろしお鉄道(約4時間20分) → 中村駅→バス(約38km, 56分) →土佐清水
 - 博多→新幹線(2時間30分)→岡山→J.R.土佐くろしお鉄道(約4時間20分) → 中村駅→バス(約38km, 56分) →土佐清水
 - 松山→J.R.(約1時間30分)→宇和島→バス(約60km, 約1時間55分) → 宿毛→バス(約41km, 約1時間) →土佐清水

- バスで
 - 東京 - 高速バス(約13時間)→中村駅→バス(約38km, 56分) →土佐清水
 - 大阪 - 高速バス(約9時間30分)→中村駅→バス(約38km, 56分) →土佐清水

- フェリーで
 - 宿毛佐伯フェリー - 大分佐伯港~宿毛片島港(3時間)→バス(約10分) →宿毛駅 →バス(約41km, 約1時間) →土佐清水

バスでの所要時間	
14分	大岐の浜
8分	海遊館以布利センター
14分	ジョン万次郎生誕地
37分	臼 簀
44分	足摺岬
5分	海の駅あしずり
21分	電串海岸
30分	叶崎灯台

プラザパル前

J R 中村 駅

ケータイのバーコードリーダーでQRコードを読み取ると土佐清水市オススメの観光スポットをご紹介します。ぜひ、アクセスして旅のルートの参考にしてください。

お手洗い **道案内**

お廻路さんにトイレを貸したり、道案内を行う簡易接待所を設置しました。接待所には左のステッカーを掲示しているの、気軽にご利用下さい。

マップ内のこのマークのあるところが簡易接待所です

問い合わせ先

- 土佐清水市観光課 TEL:0880-82-1212・FAX:0880-82-3535
- 土佐清水市観光協会 TEL:0880-82-3155・FAX:0880-82-3156
- 電串観光案内所 TEL・FAX:0880-85-0405
- 土佐清水市旅館組合案内所 TEL:0880-88-0472
- JR四国 高知駅 TEL:088-822-8229
- 土佐くろしお鉄道 中村駅 TEL:0880-35-4961
- 土佐くろしお鉄道 宿毛駅 TEL:0880-63-6000
- 高知西南交通 TEL:0880-34-1266
- 宿毛フェリー TEL:0880-62-1100・FAX:0880-62-1200

